学校番号	111

令和２年度　芸術科〔音楽〕

教科	芸術	科目	音楽Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	音楽Ⅲ「Tutti」　（教育出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

■音楽Ⅰ、Ⅱの学習を基盤として生徒一人一人の能力・適正・興味・関心等に応じた活動により個性豊かな音楽の能力を高めます。
■個性豊かな表現に必要なリコーダー、ギター、ピアノ等の奏法を身につけます。また、独奏・重奏・合奏、声や楽器を組み合わせた表現など様々な表現形態を学びます。
■学習の到達度は、授業で配布するワークシートや実技テストで評価します。
■音楽の諸活動を通して、生涯にわたって音楽を愛好していこうとする心情を育てます。

2　学習の到達目標

「音楽Ⅰ」「音楽Ⅱ」の学習を基盤として、更に一人一人の能力・適正、興味・関心等に応じた多様な学習活動を展開し、卒業後も永続的に音楽にかかわっていこうとする意欲を高めるとともに、一人一人の個性に応じた豊かな音楽能力を身につけさせる。また、芸術科音楽の最終段階であることを踏まえ、生活や社会における音楽の意義や在り方に関心をもつなど、幅広い視野で音楽を捉えることのできる豊かな音楽観を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	観察 ワークシート	観察 ワークシート	演奏の聴取 提出作品	観察 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	イメージをもって豊かな声で歌う。	【歌唱】 ふるさと 発声のエクササイズ	○	○	○		a: 曲想と歌詞の内容，楽曲の背景とのかかわりを理解し，効果的に歌うことを主体的に取り組もうとしている。 b: 速度，旋律，強弱，形式を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受し理解しながら，曲想を歌詞の内容や楽曲の背景とかかわらせて，どのように歌うか表現意図をもっている。 c: 曲想を歌詞の内容や楽曲の背景とかかわらせ，形式による違いを理解し，イメージをもって音楽表現をするために，必要な歌唱の技能を身につけ，個性豊かに表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	ピアノで弾き語りをしてみよう	【器楽】 ・ぶんぶんぶん ・めだかの学校 ・こいのぼり ・かたつむり ・むすんでひらいて ・ぞうさん ・おばけなんてないさ ・おもちゃのチャチャチャ ・思い出のアルバム	○	○	○		a:ピアノの音色や奏法の特徴と表現上の効果とのかかわりを理解し，表現意図をもって創造的に弾き語りをすることに，主体的に取り組もうとしている。 b: ピアノの音色やテクスチュア，強弱と伴奏のかかわりを知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを甘受しながら，楽曲の表現内容を総合的に理解して音楽表現を工夫し、どのように歌うか表現意図をもっている。 c: 各自が選択した童謡の表現内容を総合的に理解し、表現意図をもって音楽表現をするために必要な発声、読譜、伴奏の技能を身に付け、創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取

2学期	作曲家の部屋	【鑑賞】 ・「組曲」op25から「プレリュード」 ・世の終わりのための四重奏曲 ・ソナタとインターリュード ・涅槃交響曲 ・24の前奏曲 ・弦楽のためのレクイエム ・水の協奏曲 ・翼 ・Happy Xmas （War is over） ・たんぽぽ	○	○	○	○	a：作曲家が自らの思いや音のイメージを表すために用いた様々な技法や、個々の作曲様式と作品の音楽構造や曲想とのかかわり現代の我が国および諸外国の音楽の特徴に関心をもち、鑑賞することに主体的に取り組もうとしている。 b：音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、作曲家の思いや音のイメージと作品の音楽構造や曲想の特徴を総合的に理解して音楽表現を工夫しどのように歌うか表現意図をもっている。 c：作曲者の思いや音のイメージと作品の音楽構造や曲想の特徴を総合的に理解し，表現意図をもって音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身に付け，創造的に表している d：各曲における諸要素を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら，作曲家が自らの思いや音のイメージを表すために用いた様々な技法や，個々の作曲様式と作品の音楽構造や曲想とのかかわり，現代の我が国及び諸外国の音楽の特徴を理解し，楽曲や演奏を解釈したり価値を考えたりして，よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート 演奏の聴取

	アンサンブルの楽しみ ―表現方法・表現形態を選択して―	【和楽器選択教材】 ・斎太郎節 ・金毘羅船々 ・八木節音頭 【リコーダー・ギター選択教材】 ・Down by the sally gardens ・Dona nobis pacem ・『交響曲 第 1 番』から第 4 楽章 ・羊は安らかに草を食み ・La cumparsita ・『リュートのための古風な舞曲とアリア』から ・即興曲 ・El cóndor pasa 【管弦打楽器・鍵盤選択教材】 ・新日本紀行 ・うさぎ小屋のピアニストたち 【ヴォーカル・アンサンブル選択教材】 ・声のウォーミングアップ～あら野の果てに～ ・いざ起て戦人よ ・心の街に ・So much in love ・Michael,row the boat ashore	○	○	○		a：楽曲の表現内容や様々な表現形態による歌唱（器楽）の特徴に関心をもち，表現意図をもって創造的に歌う（演奏する）ことや表現上の効果を生かして歌う（演奏する）ことに主体的に取り組もうとしている。 b：音楽を形づくっている要素を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら，楽曲の表現内容や様々な表現形態による歌唱（器楽）の特徴を理解して，表現上の効果を生かした音楽表現を工夫し，どのように歌う（演奏する）か表現意図をもっている。 c：楽曲の表現内容や様々な表現形態による歌唱（器楽）の特徴を理解し，表現上の効果を生かした音楽表現をするために必要な歌唱（器楽）の技能を身に付け，表現意図をもって創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取

3学期	高校音楽のまとめ ―ファイナル・コンサートを開こう―	【音楽発表】 【個別選択教材】 ・音楽Ⅲで取り扱った歌唱教材 ・音楽Ⅲで取り扱った器楽教材 ・音楽Ⅲで取り扱った創作教材 【グループ選択教材】 ・Silent night, Holy night ・We will rock you 【共通教材】 ・卒業写真 ・桜の栞 ◆演奏批評のワークシート(自作教材) ◆自分のコンサートのプログラム・ノート	○	○	○		a：楽曲の表現内容や様々な表現形態による歌唱（器楽）の特徴に関心をもち，表現意図をもって創造的に歌う（演奏する）ことや表現上の効果を生かして歌う（演奏する）ことに主体的に取り組もうとしている。 b：各自が選択した楽曲の音楽を形づくっている要素を知覚し，それらの働きによる特質や雰囲気などを感受しながら，楽曲の表現内容や様々な表現形態による歌唱（器楽）の特徴を理解して，表現上の効果を生かした音楽表現を工夫し，どのように歌う（演奏する）か表現意図をもっている。 c：各自が選択した楽曲について，楽曲の表現内容や様々な表現形態による歌唱（器楽）の特徴を理解し，表現上の効果を生かした音楽表現をするために必要な歌唱（器楽）の技能を身に付け，創造的に表している。２	観察 ワークシート 演奏の聴取

	音楽の魅力を言葉で伝えよう ―紹介文・批評文―	小学校時代、中学校時代、高校時代に出会った音楽について紹介する。	○			○	a: 自分が紹介したい楽曲の音楽の構造上の特徴と美しさとのかかわりや，音楽と他の芸術や文化とのかかわりに関心をもち，批評文を書くことや鑑賞することに主体的に取り組もうとしている。 d: 自分が紹介したい楽曲の音楽を形づくっている要素を知覚し，それらの働きが生み出す特徴を理解しながら，音楽の構造上の特徴と美しさとのかかわりや音楽と他の芸術や文化とのかかわりを理解して，楽曲を解釈し，それらの価値を考えて音楽に対する理解を深め，主体的，創造的に聴いている。	観察 ワークシート

※　表中の観点について　a:音楽への関心・意欲・態度　b:音楽表現の創意工夫
c:音楽表現の技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。